

令和5年度

レポート様式および内容について

石中社研究員 佐藤 泉英
(北広島市立東部中学校)

<共通様式>

1行目左端に「分野」を明記
MS明朝 20ポイント
囲み線で囲む

1行目中央に記述
MS明朝 20ポイント

2・3・4行目右端に記述
MS明朝 10.5ポイント

歴史

石教研社会科（中）部会レポート

令和5年〇〇月〇〇日（〇）
〇〇市立〇〇中学校
氏名

《項目例》

1 単元（題材）名

2 単元や本時において、「対話を用いた主体的な学びと課題を創り出す授業の工夫」について

～学習者が自ら課題を創り出すために設定した、「対話を用いた主体的な学び」の設定理由について指導者の意図がわかるように、具体的に記述してください。なお、今年度も単元観を詳細に書く必要はありません。また、実践前の「案」の段階でも構いません。

3 単元の指導計画

～「単元を貫く学習課題（キーワード）」と「各時間の対話活動」の記載で十分です。

	学習内容	対話活動
	単元キーワード：自然環境、環境保全 単元を貫く学習課題：九州ではどのような環境保全策があるのだろうか？	
1	多様な自然が見られる地域	既習事項の「ペア学習」、振り返り時の「班活動」
2	火山と共に暮らす	火山をどのように生かすかを「ペアースクエア（4人）」で深める
3	特色ある自然と多様な農業	「北海道と農業の違い」を生徒に視点を決めさせて、スクエア（4人組）で深めさせる
4	工業の移り変わりと環境保全	「今後工業がどのように変化するだろうか」をペアで深めさせる
5	さんご礁の海を守る	「九州の環境保全」について、生徒に視点を定めさせてペアースクエアで深めさせる

4 本時の略案～本時と「単元を貫く学習課題」の関わりについてや留意点などを盛り込んでください。

先生方の実践（または今後実践予定の案でも可）をレポートにまとめていただきたいと思います。レポートの基本様式および内容は上記の通りです。必ずしも《項目例》通りとする必要はありませんが、以下の点を考慮していただけると幸いです。

- ① 単元の指導計画の中で、「単元を貫く学習課題」と「キーワード」が明示されていること。
- ② 視覚的にわかりやすく、読みやすい内容であること。

夏休み前後に石中社HPにプロジェクト試案をUPする予定ですので、ご活用ください。